



ほけんだより

18年度2月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

2月に入り、明照保育園でもインフルエンザの感染が確認されました。愛知県感染症情報によると、インフルエンザは流行期に入っているようです。豊橋市内では1医療機関あたりの患者数が1月29～2月4日に13.09でした。(1医療機関あたりの患者数が10を超えると「注意報」、30を超えると「警報」となります。) まずは予防から・・・。

【インフルエンザについて】

● インフルエンザにかからないためには・・・

- ☆ 睡眠を十分にとり、暴飲・暴食をさけ、健康的な生活を心がけましょう。
- ☆ 帰宅後には「うがい」「手洗い」をしっかりとしましょう。
- ☆ 外出する時には、「マスク」を使用しましょう。
- ☆ インフルエンザウイルスは湿気に弱いため、部屋が乾燥しすぎることがないように、「加湿」に努めましょう。



● 症状は・・・

- ・急激な発熱のため子どもは急にぐったりし、起きていらなくなる子もいる。
- ・顔は紅潮し、見るからにつらそうで、頭痛や筋肉痛を訴えたりする。

(その一方で、高熱のわりに元気な子もいる)

☆熱が“何度か”よりも、発熱が“どれくらい続いているか”に注意して下さい☆

※乳幼児は重症化すると命に危険が及ぶこともあり、肺炎、気管支炎、熱性けいれんなどのほか、脳炎・脳症といった合併症を引き起こす場合があるので注意が必要です。(インフルエンザは、感染症の中では死者数が第1位です。)

● 治療方法は・・・

治療薬(タミフル)は、発病2日以内に服用を開始しないと効果は期待できないため、症状が現れていたらなるべく早く医療機関を受診することをおすすめします。

治療薬・塩酸アマンタジン(シンメトレル)は現在子どもにはあまり使われていない。

・オセルタミビル(タミフル)

【効果】→1～2日で熱は下がり、インフルエンザの症状を軽くする。

→A型インフルエンザ、B型インフルエンザ両方に効果を示す。

● どう対応したらいいのか・・・

- ・1時間に5分程度、窓を開けて換気する。
- ・安静にし、消化のよいものを与える。脱水症状に気をつけ、こまめに水分を補給する。
- ・熱のあがり初めなど悪寒を感じる時は暖める。熱が上がりきったら無理に厚着をさせない。
- ・首、わきなどの血管が浮き出ているところを冷やす。(氷のうをおでこに乗せる方法は、気持ちよくなるが体温を下げる効果はほとんどない。)一番いいのは、体全体をふいてあげること。

● インフルエンザにかかった子どもはいつから登園できるの？

学校保健法に基づき、解熱した後2日経過してから登園可能になります。

(医師から伝染の恐れがないと登園許可がおりてからです。)

【ぎょう虫卵検査結果と駆除について】

前検の1回目1/17(水)と2回目1/24(水)では、回収のご協力ありがとうございました。前検の結果が出ましたのでお帳面に入れてお知らせします。ぎょう虫卵が検出された子は、後検までの2～3週間の間に駆除をしてから後検を提出して下さい。

☆ 後検・・・3/5(月)配布 → 3/5(月)～7(水)朝まで回収



ぎょう虫の駆除

- * ぎょう虫駆除薬として「ポキール」、「コンバントリン」があります。医師または薬剤師に相談してください。
- * 尚、ぎょう虫駆除薬は卵には効きません。したがって、卵から成虫になる期間を考慮して1回目の服薬後2週間から3週間後にもう一度服薬することでほぼ完全に駆除されます。
- * また、ぎょう虫は1人被患者がいると家族にも感染していることがよくあります。家族全員の駆除をお勧めします。

ぎょう虫症の予防法” みんなでぎょう虫をやっつけよう!! “

1. 爪を噛んだりしない。
2. 爪はのばしたままにせず、こまめに切る。
3. 肛門のあたりを直接掻いたりしない。
4. トイレの後、食事や調理の前などには、手をよく洗う。



【おわりに】



お遊戯会まであと少しです。全員が元気に参加できることを願って、保育園では加湿や換気につとめ、子どもさんの体調に気をつけていきたいと思っております。お家でも、うがい・手洗い、早起き早寝でがんばりましょうネ!!